

速報

年末手当会社回答 支給月数3.0ヶ月

12月10日以降準備でき次第

要求に程遠い回答！社員の労苦を無視！

本部は11月8日、2018年度年末手当第3回団体交渉を開催し、会社から年末手当支給月数等について回答を受けました。

現場社員の苦勞と協力によって中間決算は7期連続の過去最高益となりました。しかし会社は、社員の努力を認めているにもかかわらず、昨年と同月の回答しかしませんでした。業績の向上はもとより、組合員、社員の努力、苦勞、会社への協力は昨年よりも相当高いものです。従ってボーナスの上乗せは当然であり、昨年と同じでは到底納得できるものではありません。役員はJR内ダントツの報酬、一方現場で汗している社員には我慢の強要。これでは社員のモチベーションは下がる一方です。JR東海労は回答に不満を強く表明し、持ち帰り検討としました。

**会社は現場社員の苦勞と
家族を含めた協力に応えよ!!
本部は再申し入れを行います！**